

北陸支部報

2024/1/19
第21号



目 次

年頭のご挨拶	(公社)日本測量協会北陸支部	大西支部長	1
年頭のご挨拶	国土地理院北陸地方測量部	白井部長	2
支部役員会開催			3
「公共測量講習会(富山会場)」開催される			3
講習会開催状況			4
行事等の報告			6
会員の状況(令和5年12月末現在)			7
令和6年度北陸支部事業計画(案)			7
令和6年度北陸支部空間情報技術事例発表会			9



公益社団法人
日本測量協会

北陸支部



年頭のご挨拶

(公社) 日本測量協会北陸支部長
大 西 宏 治

令和 6 年(2024 年)の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げますとともに、令和 6 年能登半島地震で被災された皆様ならびにそのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。北陸支部のみなさまに置かれましては、被災された方、災害復旧の対応に当たっていらっしゃる方も多数いらっしゃると思います。支部としてみなさまに寄り添った取り組みを考えていく所存です。

さて、北陸支部の皆様方には平素から測量系を含む地理空間情報を中心として、多くのご支援とご協力を賜っておりますことに対し、厚く御礼を申し上げます。昨年の空間情報技術事例発表会では感染対策を万全にして新潟県「新潟ユニゾプラザ」で開催させていただきました。対面での参加者は 40 名であり、発表内容はすでに北陸支部 HP などで公開しております。ご覧になられた方も多いのではないのでしょうか。最優秀賞には「国土地理院 DEM を用いた地形追従 UAV 写真測量事例」を発表された金井度量衡(株)の荻野祥向さんが、優秀賞には『史跡 佐渡金山銀山遺跡』世界遺産登録を目指して ～異なる

レーザデータを活用したハイブリッド型三次元地形解析～」を発表された(株)オリスの佐藤広基さんが選ばれました。最優秀賞および優秀賞に選ばれた方には、本部が主催する「空間情報技術事例報告集」に可能な限り投稿していただきたいと思います。また、惜しくも選外となられた方々も積極的に投稿されることを期待しております。

今年の業務報告会および空間情報技術事例発表会はホテルグランテラス富山(富山市)において開催する予定です。富山県の会員の皆様はもちろんのこと、その他の北陸 3 県の方々からの積極的な発表・聴講を期待します。

最後になりましたが、災害の復旧の見通しがまだ十分にたたない中ではありますが、日本測量協会および北陸支部の益々の発展と会員皆様方のご健勝とご活躍、さらにご家族の皆様のご多幸を祈念して、年頭のご挨拶とさせていただきます。

富山大学学術研究部 人文科学系
教授 大西宏治

年頭のご挨拶

北陸地方測量部長
白井 宏樹

新年あけましておめでとうございます。

公益社団法人日本測量協会北陸支部及び会員の皆様には、日頃から国土地理院の業務にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

近年、高精度な測位社会の到来、DX（デジタルトランスフォーメーション）及びi-Constructionの取組、測量技術の急速な進歩などに伴い、測量・地理空間情報分野においても大きな変化が続いており、その変化に対応する力が求められています。

また、働き方改革や担い手不足の対応などの諸課題もあり、生産性向上や技術力向上の取り組みも重要になっています。

国土地理院では、令和6年度から始まる、新たな「基本測量に関する長期計画」を策定しているところですが、引き続き、国土を「測る」「描く」「守る」「伝える」の4つの役割を通じて、社会の多様なニーズに応じた施策を立てて測量行政に取り組んでいく所存です。

さて、令和5年の災害・防災関係を振り返ると、5月5日に発生した石川県能登地方を震源とする地震では、石

川県珠洲市で震度6強の強い揺れを観測し、当部では地殻変動監視を目的に緊急測量調査を実施するなどの対応をしてまいりました。

7月の梅雨前線による大雨では、富山県及び石川県において、線状降水帯が発生し、激甚災害に指定されるほどの被害が発生しました。

引き続き、災害対策基本法における指定地方行政機関として、測量・地図分野の技術を活用し、必要な防災情報を集め速やかに提供してまいります。

最後に、貴支部の皆様には引き続きご支援・ご協力をお願いするとともに、益々のご発展と会員皆様のご多幸とご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



北陸支部役員会開催

12月21日(木)にオンラインで北陸支部役員会を開催しました。この役員会は、北陸支部の今年度事業の中間報告及び次年度の事業計画(案)の概要について役員の皆さんに報告し、意見を伺うものです。

ここ数年の受講者数は、新型コロナウイルス感染拡大対応等により受講者数が大幅に減少していましたが、今年度(11月現在)の計画人員に対する受講者数は、北陸地域を襲った災害対応の影響もあり若干少なめとなりました。

北陸支部の会員状況は、令和5年12月末現在、正会員、準会員、特別会員の総数が715名となっております。ここ数年の会員総数が720人位前後で推移していましたが、令和5年3月末と比較すると増減に変化はありませんでした。高齢のため仕事からリタイヤされた方が多かった半面、講習会の同時入会する人数が復調したためです。今後、入会していただく方が増えるように一層PR等を行っていきます。

次年度事業計画(案)は、ほぼ今年度と同様の講習会或いは行事等を、開催場所を持ち周りで行なっていきます。(新潟市、富山市、金沢市、福井市)

UAV関連の講習会を4コース計画しており、そのうち3コースは、要望が多い実習を伴うUAV取得データ関連の講習会としています。加えてデータ処理の講習会「3D点群モデル解析基礎技術」「三次元点群測量」を実施します。

業務報告会は、富山市の富山ホテルグランテラスにて7月11日の開催を予定しています。業務報告会終了後同会場で引き続き空間情報技術事例発表会を開催します。数多くの方に視聴して頂くために今年と同様に同時配信で発表内容を聞いて頂くよう準備中です。

「公共測量講習会(富山会場)」開催される

日本測量協会測量技術センターでは、「公共工事の品質確保の促進に関する法律「品確法」(平成17年制定)」、「地理空間情報活用推進基本計画(平成29年第3期策定)」を受けて、国および地方公共団体等が作成する公共測量成果の地理空間情報の基盤データとしての利活用の推進をお手伝いするため、測量計画機関の公共測量担当者を対象とした、「公共測量講習会」を毎年全国各地で開催しています。公共測量に対する理解を深めていただき、更に測量成果の品質確保を図ることを目的としています。

北陸支部では、11月29日(木)に富山県教育文化会館で「公共測量講習会(富山会場)」を開催しました。富山市での開催は、

平成元年以来3回目の開催となります。

今回の講習会は、北陸地方整備局、国土地理院北陸地方測量部、富山県の後援を頂き、富山県内の国、地方公共団体の測量計画機関の実務者を対象としたものです。講習会では、国土地理院北陸地方測量の部長から講演、調査係長から法手続きについて説明をいただき、当協会からは、基準点測量、数値地図、品質管理について説明を行いました。

量計画機関の担当者の方々にこのような機会を通じて公共測量への理解が深まることが期待されています。

講習会開催況（令和 5 年度開催分）

開催日	講習会名	会場
4 月 12 日	路線測量・用地測量	新潟市（NOC プラザ）
4 月 21 日	測量数学・誤差学の基礎	新潟市（ユニゾンプラザ）
5 月 10 日～ 11 日	UAV 取得データ用いた写真測量と地形図作成	金沢市（石川県地場産業振興センター）
5 月 15 日～ 19 日	河川測量設計（Ⅰ）	富山市（測量会館）
5 月 25 日	ネットワーク型 RTK 法による基準点測量	福井市（国際交流会館）
6 月 27 日～ 30 日	環境（Ⅰ）	富山市（測量会館）
7 月 26 日	UAV 用いた空中写真測量	新潟市（ユニゾンプラザ）
8 月 2 日	GNSS による基準点測量	新潟市（ユニゾンプラザ）
8 月 30 日	3D 地形点群モデル解析基礎技術	金沢市（石川県地場産業振興センター）
10 月 27 日 ～11 月 2 日	基準点 B 課程	富山市（測量会館）
9 月 11 日 ～16 日	基準点 A 課程	富山市（測量会館）
9 月 28 日	UAV 取得データ用いた災害地の計測調査	新潟市（ユニゾンプラザ）
9 月 19 日～ 22 日	環境（Ⅱ）	富山市（測量会館）
11 月 28 日	電子基準点利用による基準点測量及び GNSS 水準測量	富山市（教育文化会館）
10 月 2 日～ 6 日	河川測量設計（Ⅱ）	富山市（測量会館）
10 月 18 日	測量・地理空間情報技術者のためのアドバンスセミナー	金沢市（石川県地場産業振興センター）
11 月 15 日	TS による 3・4 級基準点測量	金沢市（石川県地場産業振興センター）
12 月 13 日	UAV を用いた新たな計測技術とその利用（ビデオ講習会）	富山市（教育文化会館）

○「UAV取得データを用いた災害地の計測と調査」

9月28日に新潟市の「新潟ユニゾンプラザ」において「UAV取得データを用いた災害地の計測と調査」講習会を開催しました。

実際にUAVで取得されたデータを用いて、災害対応における災害地の撮影ポイント及び留意点、UAV取得データを用いた計測とクラウド処理、災害地の計測調査事例など実習を通じて新しい技術取得を学習する内容です。災害の初期対応として迅速な測量調査等実際の作業に大変役に立つ講習会です。



○「3D地形点群モデル解析基礎技術」



8月30日に金沢市の「石川県地場産業振興センター」において「3D地形点群モデル解析基礎技術」講習会を北陸支部で初めて開催しました。

各種のレーザー計測方法は、それぞれ長所と短所があることから目的に応じて組み合わせて利用するなどのニーズが高まると予想されています。この各種のレーザー計測技術について全体像を整理すると共にUAV搭載型と地上設置型のレーザー計測データを用いた3D地形点群モデル作成の方法について実習方式での講習会を行いました。定員を超える受講希望者があり、大変好評な講習会となりました。

「TSによる3・4級基準点測量」



11月15日金沢市の「石川県地場産業振興センター」において、「TSによる3・4級基準点測量」を開催しました。

令和5年3月に「作業規程の準則」が一部改正されましたが、本講習会は、TSによる基準点測量に関する「作業規程の準則」の条項解説の他、作業計画から始まる一連の作業工程について、演習を取り入れながら留意点の説明を行いました。

実際の測量作業に役立つ講習会となっています。

○「測量・空間情報技術者のためのアドバンスセミナー」

10月18日金沢市の「石川県地場産業振興センター」において、「測量・空間情報技術者のためのアドバンスセミナー」を開催しました。

このセミナーは、一般社団法人石川県測量設計業協会と共催での開催となりました。日本測量協会及び各県測量設計業協会の会員は無料で参加できるセミナーとなっています。

日本測量協会では、会員の皆様に少しでもお役に立てられるセミナーの開催を目的

に行っており、従前の「地理空間情報技術セミナー」「CPD利活用セミナー」「スキルアップセミナー」のエッセンスをコンパクトに受講できるように1日にまとめセミナーです。「準則の最新動向、技術講習会等の活用ポイント」「UAVを主体とする複合的な計測とその利用」「技術提案書作成とその作成方法(私流)」「測量技術者が上位資格を取得するために(私流)」「測量成果の品質管理等について」の講習が行われました。

行事等の報告

○とやまみんなの地図作品展を開催

とやま地図作品研究会では、11月23日から26日まで富山市のフューチャーシティ「ファボーレ」において、「第17回とやまみんなの地図作品展」を開催しました。

この作品展は、今年度の応募作品の中から入賞作品に選ばれた15点(小学生12点、中学生3点)を展示しました。

表彰式は、展示会初日の11月23日にフューチャーシティ「ファボーレ」のファボーレホールにて行われました。最優秀作品の「とやま地図作品研究会長賞」には、小学生の部の富山市堀川小学校5年生姫栗央さんの作品が選出されました。姫野さんの作品は、茨城県つくば市にある国土地理院の「地図と測量の科学館」で1月に開催される「第27回全国児童生徒地図優秀作品展」に出展し、最優秀作品は文部科学大臣賞及び国土交通大臣賞の候補作品として推薦しました。

また、射水市新湊南部中学校1年生長渡辺花蓮さんの作品他5作品を「第27回全国児童生徒地図優秀作品展」へ出展しました。作品は、茨城県つくば市にある国土地理院「地図と測量の科学館」とNHK大阪放送会館で展示されることになっています。



会員の状況（令和5年12月末現在）

区 分	5.3 末	5.12 末	増減	新潟県	富山県	石川県	福井県
正 会 員	5 4 2	5 4 4	+ 2	246 (-3)	104 (0)	139 (+1)	55 (+4)
準 会 員	0	0	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
特別会員	1 7 3	1 7 1	-2	80 (-1)	38 (0)	33 (-1)	20 (0)
合 計	7 1 5	7 1 5	0	326 (-4)	142 (0)	172 (0)	75 (+4)

令和6年度北陸支部事業計画（案）

北 陸 支 部 主 催 講 習 会	場 所	時 期（期間）
基礎講座 測量数学・誤差学の基礎	金沢市	4 月 (1 日間)
U A V取得データを用いた写真測量と地形図作成	新潟市	5 月 (2 日間)
ネットワーク型R T K法による基準点測量	金沢市	6 月 (1 日間)
U A Vを用いた空中写真測量	富山市	7 月 (1 日間)
G N S Sによる基準点測量	福井市	7 月 (1 日間)
3 D点群モデル解析基礎技術	新潟市	8 月 (1 日間)
U A V取得データを用いた災害地の計測調査	金沢市	10 月 (1 日間)
測量・地理空間情報技術者のためのアドバンスセミナー	富山市	10 月 (1 日間)
三次元点群測量一	金沢市	10 月 (1 日間)

TSによる3・4級基準点測	富山市	11月 (1日間)
電子基準点のみを既知点とする基準点測量及びGNSS水準測量	新潟市	12月 (1日間)
UAVを用いた新たな計測技術とその利用	新潟市	12月 (1日間)
測量士答案練習セミナー	富山市	3月 (5日間)
測量士補答案練習セミナー	富山市	3月 (4日間)

習会等については、場所あるいは時期等が変更になる場合があります。

1. 北陸支部報
8月及び1月に本部ホームページへの掲載による刊行を行う。
2. 北陸支部通信
会員への情報伝達手段として、メルマガ「北陸支部通信」を月1回配信する。
3. ホームページ（測量情報館）のWebサイト「支部からのお知らせ」
会員への情報伝達手段として本部ホームページ内にある「支部からのお知らせ」欄を充実させ、活用を図っていく。



北陸支部令和6年度空間情報技術事例発表会

空間情報技術者の育成と空間情報技術の一層の普及及び情報共有を図ることを目的として、令和6年度も「空間情報技術事例発表会」を開催します。
この発表会は、測量協会本部が募集をしている「空間情報技術事例報告集」に投稿していただき、北陸支部における空間情報技術者の活躍を紹介することも目的の一つとなっていますので、北陸支部管内の技術者、学生の皆さんの積極的なご応募をお願いします。

応募概要

1. 募集内容

発表者自身の業務上の体験及び研究成果や日頃感じている問題点等の空間情報（地理空間情報及び測量を含む。）に関係した内容とする。

2. 応募対象者

北陸支部管内の空間情報技術者又は空間情報関係の学生等で、概ね40才未満の者とする。

3. 発表時間

一課題の発表は、質疑応答を含め20分以内とする（発表15分、質疑5分）

4. 発表日時及び場所

日時：令和6年7月11日（木）14：00～

場所：富山ホテルグランテラス（富山市）

5. 応募

(1) 発表希望者は、3月末までに北陸支部事務局に所属、氏名、年齢、発表名を申し出る。

(2) その後、発表の決定を受けた者は、5月末までに発表する内容の概要（要点：200～300文字）を北陸支部事務局にメールで提出する。

(3) 発表当日の資料（別途標準様式により作成）は、事前（10日前まで）に北陸支部事務局にメールで提出する。

6. 表彰

審査の結果、優れた発表者に対しては、賞状及び副賞を授与する。

《問合せ・応募先》 公益社団法人日本測量協会北陸支部

〒939-8094 富山市大泉本町1-12-14

測量会館 TEL 076-422-3305 FAX 076-422-3403

E-mail hokuriku@jsurvey.jp



謹賀新年

昨年中は何かとお世話になり、有り難うございました
今年もよろしく願います
会員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます



令和六年 元旦

測量CPD及び技術者継続教育証明制度(SUCCESS)の登録、更新を行いましょう。

~~~~~ ☒ ~~~~~ ☒ ~~~~~ ☒ ~~~~~ ☒ ~~~~~ ☒ ~~~~~

編集・発行

公益社団法人 日本測量協会 北陸支部

〒939-8094 富山市大泉本町 1-12-14 (測量会館内)

○ 事務局 ・TEL 076 (422) 3305 ・FAX 076 (422) 3403

E-mail [hokuriku@jsurvey.jp](mailto:hokuriku@jsurvey.jp)

○ 技術センター ・TEL 076 (421) 5445 ・FAX 076 (422) 3403

E-mail [hokuriku@geo.or.jp](mailto:hokuriku@geo.or.jp)